

### 3-3 東京とその周辺の上下変動

#### Vertical Movement in and around Tokyo

国土地理院測地部  
Geodetic Division, Geographical Survey Institute

東京附近における最近の一等水準測量結果による上下変動と以前の上下変動を対比させて報告する。

第1図は東京～川崎～横浜間の一等水準点変動図である。多摩川下流域の地盤の異状隆起についてはすでに多くの報告<sup>1)~4)</sup>があるが最近の傾向としては隆起現象が北方に拡大している。図の下段の変動グラフに対して、中段、上段の変動グラフに移行するに従い隆起現象が北方に拡大している。この地域の変動については今後とも他の観測と並行して動向を監視する必要があるだろう。

第2図は東京～横浜間、国道246号線経由の一等水準点変動図である。この図からは最近の測量結果による大きな上下変動は見受けられない。上段の変動グラフにおける右方の傾斜は測量の系統誤差によるものと考えられる。

第3図は東京～大宮間の一等水準点変動図である。この図から浦和市附近の沈下現象は減少の傾向に、他の地点では変動は見られない。

第4図は大宮～野田～船橋間の一等水準点変動図である。二つの変動グラフは非常によく似た変化を示しているが変動量は減少の傾向にある。変動量の右方への傾斜は系統誤差と考えられる。

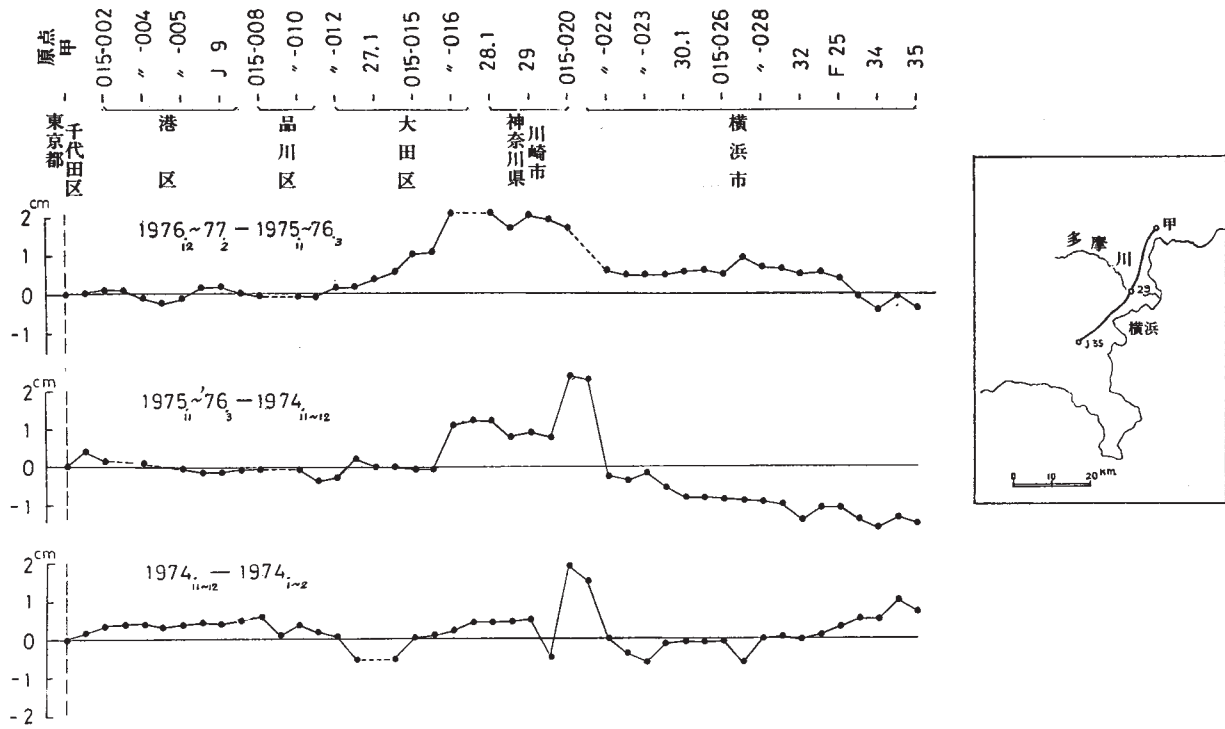
第5図は東京～船橋間の一等水準点変動図である。この路線についても変動量が減少する傾向が見受けられる。

以上述べたことから東京とその周辺では上下変動がきわめて小さいか、あるいは減少の傾向にあるが、多摩川下流域については今後も監視の必要があると考えられる。

#### 参 考 文 献

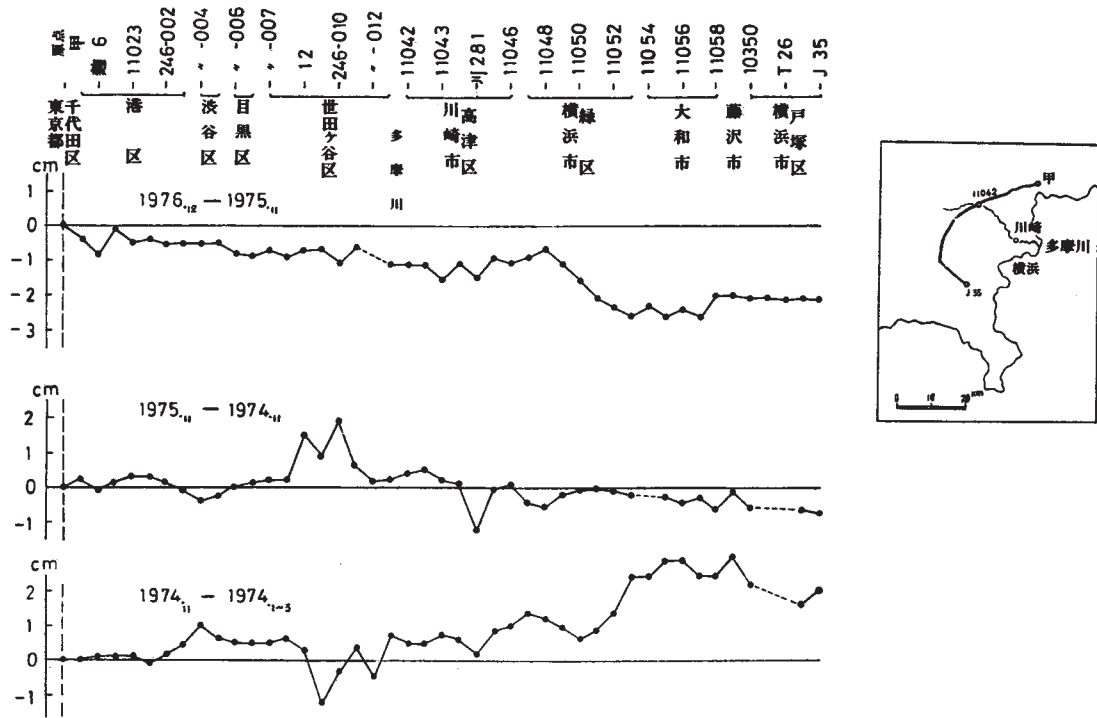
- 1) 国土地理院：多摩川下流域での地殻隆起運動，地震予知連絡会々報，第13巻，1975，34～35.
- 2) 国土地理院：多摩川下流域での地殻変動，地震予知連絡会々報，第14巻，1975，13～16.

- 3) 国土地理院：多摩川下流域の上下変動，地震予知連絡会々報，第15巻，1976，37～40.  
 4) 国土地理院：多摩川下流域での地殻変動(2)，地震予知連絡会々報，第16巻，1976，56～59.



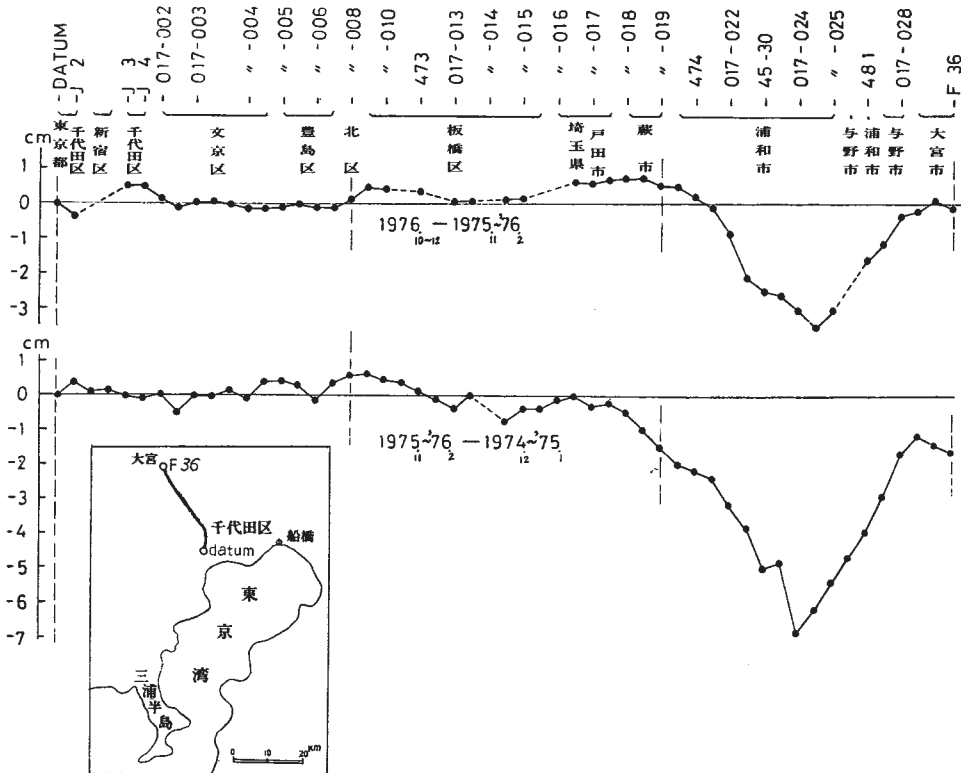
第1図 東京～横浜間（国道15号線経由）の上下変動

Fig. 1 Vertical movements between Tokyo and Yokohama along the Route No.15.



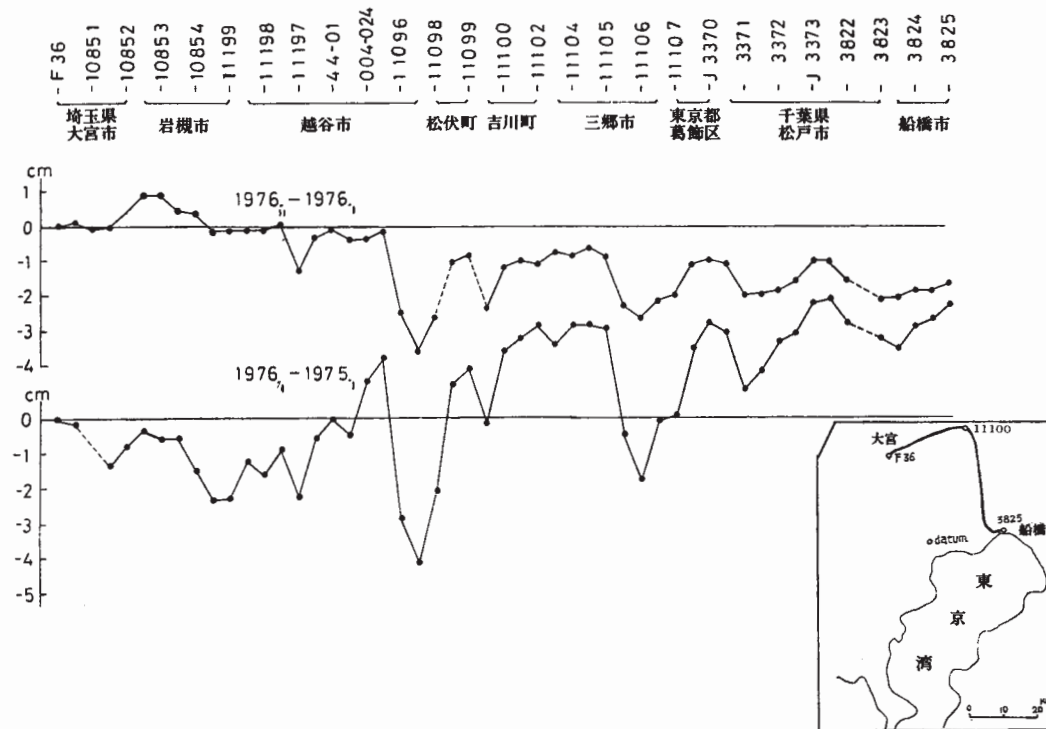
第2図 東京～横浜間（国道246号線経由）の上下変動

Fig. 2 Vertical movements between Tokyo and Yokohama along the Route No.246.



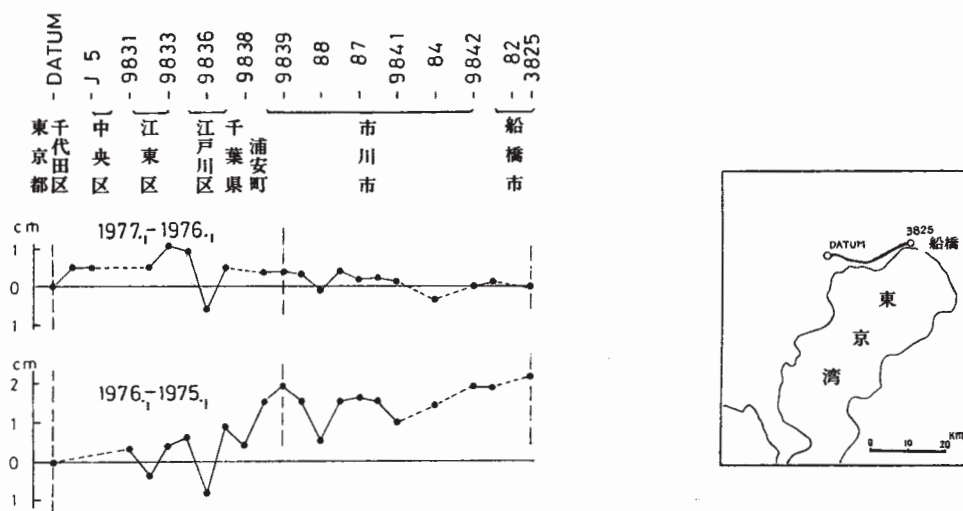
第3図 水準原点～大宮間の上下変動

Fig. 3 Vertical movements between Datum and Omiya.



第4図 大宮～船橋間の上下変動

Fig. 4 Vertical movements between Omiya and Funabashi.



第5図 東京～船橋間の上下変動

Fig. 5 Vertical movements between Tokyo and Funabashi.